

## 日墨戦略的グローバルパートナーシップ研修計画報告レポート 10月

伊達椋平

10月も終わり、日本は秋が深まり、広島紅葉も綺麗に色づいてくる頃でしょうか。メキシコでは四季が感じられないので少し物足りない気持ちになります。しかしながら、ようやく雨季が終わりこのところ日中晴天、暖かい日が続き、とても過ごしやすい気候になっています。

いきなりですが、私の趣味は野球です。小・中・高と10年以上野球を続け、今でも野球は切っても切り離せないものです。今年も広島カーブは大いに盛り上がりました。日本一は逃しましたが来年に期待したいですね。

さて、メキシコにも野球があることはみなさんをご存知かと思います。2013年にはWBC世界大会でアメリカを破った戦歴を持っています。メキシコ国内にはリーグ・メヒカーナと呼ばれる国内プロリーグが存在し、MLB(メジャーリーグ)からはAAA(メジャーリーグの一つ下のレベル)の評価を受けており、実力も十分にあります。サマーリーグとウインターリーグがそれぞれ開催され、ほぼ1年を通して試合が楽しめる野球大国の一つなのです。そしてメキシコの野球を体感するというのが私のメキシコでの目的の一つでもありました。

しかし、メキシコでしばらく生活をして気がつきました、周りに野球場がない。野球道具を売っているスポーツ用品店も滅多に見かけず、大学の広場で友達とキャッチボールをしても誰も声をかけてくれません。聞くところによると、野球が盛んなのはメキシコの北側と南側に限られているようです。

それでも10月中旬、学期と学期の間にまとまった休みがありましたので、それを利用してメキシコのプロ野球を見てみようと考えました。しかし、ちょうどサマーリーグとウインターリーグの間だったのでこれまた空振りしてしまいました。(私の下調べ不足)

そしてダメ元で大家さんに近くで野球をやっているところはないかと尋ねたところ、なんと家から歩いて15分、まさに目と鼻の先に野球をやっている場所があることがわかりました。早速紹介してもらい球場に行ってみたところ、なんといきなり



チームに混ざって試合に参加していいと言ってもらえました。これにはびっくりしましたが、喜んで参加させてもらいました。試合の前にペットボトルの水をいただき、タコスまでご馳走になってしまったところは、またもやメキシコ流の心からのおもてなしに感動させられました。

チーム自体はローカルな草野球チームといった印象です。メンバーは近くに住んでいる人たち、あるいはその家族で構成されていて、年齢層も幅広く一番下は14歳、一番上ははっきりとはわかりませんがその子のおじいさんに当たる人がプレーヤーとして活躍します。年齢というのはそれほど重要ではないみたいです、やる気のある人なら誰でもパワフルに動けます。毎週日曜日、午前中から午後にかけてみんなで集まり野球を楽しみます。終始スラングが混じった言葉が飛び交うので、理解するのに苦しんでいるところです(笑)。飛び入りもできるくらい一見するとただの草野球チームに見えるのですが、どうやらちゃんとしたリーグ、または組織があるようで、彼らはそれぞれメンバーカードのようなものを持っていました。この他にもさらにレベルの高いリーグ、アジア人が多く所属するチームなど私の知らないところにあくさんの野球があるみたいなので、今度また紹介してもらおうと考えているところです。

まだそれほどたくさん参加したわけではないので、どんな野球かまでは書くことはできないのですが、とにかく初めて尋ねたにも関わらず、すぐに一員として受け入れてもらったその心の広さと人と人の距離の近さを感じることができました。試合終わりには、大人たちはそのまま球場でアルコールを楽しみ、酔っ払いながら長い時間おしゃべりします。グラウンドでそのままお酒を楽しむという経験はとても新鮮で、さらにお互いの仲が深まるような雰囲気がありました。ざっくりとした説明ではありましたが、これからもっとメキシコの野球を理解できるように、そして楽しめるように積極的に参加していこうと思います。

